

第3回琴浦町地方創生推進会議（結果）

日時：平成27年6月25日（木）19:00～21:00
場所：本庁舎 防災会議室

1. 参加者	委員24人、事務局4人、米田コンシェルジュ
2. 欠席者	安谷委員
3. 会長挨拶	他の町でも同じような議論が進み、それぞれの真剣度が問われる時期に入った。今日はグループ討議となるので、よろしくお願ひします。
4. 副町長挨拶	今日は3回目で、このようなスタイルとした。 昨日まで町内9カ所を意見交換で回り、そこで出た意見もつけている。今までこちらから一方的に話をしてきたが、今日は皆さんの知恵をお借りしたい。よろしくお願ひします。
5. 内容	<p>●会長 ○委員 →事務局</p> <p>新委員の紹介 鳥取県中部森林組合より推薦、御古修さんを紹介。</p> <p>① 琴浦町人口ビジョン、総合戦略骨子（素案）について → 事務局から説明</p> <p>● 人口ビジョンと総合戦略（素案）について、何かありますか。 ではグループ討議になりますが、今後のイメージを示してもらえれば話しやすいのでは。</p> <p>→ 今日のグループ討議では、委員の皆さまがどのような考えを持っているのか意見を聞きたい。それには大勢で話すよりも、テーマに分けて話した方がより効果的だろうということで設定した。ただ、10月策定という時間のなかで、引き続き班でやっていくというのも大変だと考えており、今日は委員の方の意見をお聞きし、それを役場の方で、町民の方の意見や職員の意見を含めたかたちで、次の推進会議では1つの戦略のたたき台を出したいと考えている。このテーマ別の意見交換会は、今日でひととおり終わると考えていただきたい。事務局はそのような考え方です。</p> <p>●テーマごとに分かれているが、各テーマの議論に狭めるのではなく、全体を幅広く議論するうえでも、グループに分かれた方が話しやすいという理解でよいか。テーマごとで細かく話してもよいし、少人数の方が意見を出しやすいだろうということで、全体を話してもらってもいい。</p> <p>→ 事務局より、グループ意見交換会の流れを説明。</p> <p>② 総合戦略全体像等についての意見交換 4つのグループで意見交換を実施</p> <p>③ 各グループより意見発表・まとめ</p> <p>「育む」グループ 結婚・・・婚活を前に出すと人目を気にして集まりにくいので、パーティー形式や町外で実施。子どもを間に挟んで一緒に活動するとカップルが生まれやすいそうで、「子ども好き集まれ」という企画などはどうか。町内企業と町内企業で</p>

企画し、そこで結婚に至れば祝い金を出す。
子育て・・・保育園のサービスの充実。土日祝日は料金が低い。通常保育並みに料金の見直し。「保育に欠ける」要件を緩やかに。思い切って1人目から保育料無料へ。医療費の助成を高校生まで拡大。児童クラブの長期休暇中の給食サービスを実施。
地元愛の育成・・・地元ボランティア指導者により自然体験を企画・サポート。そもそも親に地元愛があれば、それが子どもたちへ伝わる。親子で地域で遊べる企画をしては。
情報発信・・・十分にPRできているのか。上手にできていない。テレビのコマーシャルをしたり、フェイスブックなど若者が情報収集しやすいところに発信する。印象に残るイメージ戦略。
その他・・・空き家を譲りたい人もあるので、いっそ町外から住まれた方に、何年か住んだら差し上げるというようなことも思い切ってしてはどうか。

「創る」グループ

大きな目標としては、農産物を含む琴浦町の製品のブランド化。最終的には利益を得て、組織や地域が永続的に継続する根幹となるもの。特色ある、品質の高い製品を作る。
女性に受けるようなネーミング、感性、デザインを外部のコンサルタントに依頼して立ち上げ、外に出しても「なかなかいいのではないか」というものをつくる。他業種との兼ね合い。
売れるものを作るためには品質を上げていく。量も必要なので、仲間を増やす（町外からの人の仕入れ）。量の確保については、高齢者も利用して量を増やしていく。

「輝く」グループ

輝く町の共通イメージを持つ。住民自身が楽しそうに幸せそうに暮らしている、本人がそう思うことも大事だが、外の人からそう思ってもらえることも必要。幸い「琴浦町は元気だな」と思ってもらえているようで、それを伸ばす。
町の良さをもっと知らせる必要がある。町民自身が町のよさを知るようなツアーを計画。町内各所に説明している地元の人がいて、観光地もいいがその人も面白い、そういう人を育てることも大切では。
高校・大学から帰ってこないことが大きな課題。若い人に琴浦町のよさや「コトウラ暮らし」の幸せなところを教えていないのでは。そこを知らせていく。
町出身の大学生などに細かい情報提供ができないか。そういう世代が年間何千人もいるわけでないので、人が少ない強みを活かして、一人ひとりに就職に関わる催しなど、細かな情報提供をしてはどうか。
琴浦町に住んでいる人がそういうイメージで輝けば、交流人口や移住定住も増えてくるのでは。
計画全体のとらえ方で、5年で一定の成果を出さないといけないとあるが、あまり拙速な取り組みばかりでなく、長い取り組みで成果の出るものもあり、平行して取り組むべきでは。

「根づく」グループ

若者のIJUターン・・・第一には働く場の確保。空き家の活用ではリフォームの費用助成（200万程度）があれば。町営住宅ではコーポラスを5年間無料にし、その間に家を建てたり次を探してもらい、帰ってきたときにすっと入れる場所の確保。
子育て支援・・・保育料金の見直し（第1子から半額）、病児保育の見直し。
退職世代の移住・・・積極的な希望はしない。

	<p>安全安心なまちづくり・・・部落内での共助、思いやり、助け合いやコミュニケーションが大切。買い物ネットや病院の送迎で地域の世話役をつくり、お礼は商品券で。デマンドバスの整備。</p> <p>自主防災組織の強化・・・組織強化のための連合会の設置や組織の拡大。</p> <p>→ひととおり発表が終わったが、聞いてみたいことはないか。会が終わった後に時間のある方は、各グループの内容を見て回ってほしい。</p> <p>●今回はグループワークの試みだったが、各グループの発表も素晴らしく、琴浦町民はやっぱりすごいと感じた。今日の意見をこれからどのように生かすのかを含めて、最後に事務局でまとめを。</p> <p>→この意見交換の内容は、役場内部で検討をしたうえで、7月の推進会議では戦略のたたき台を示したい。その中で、もう少し原案を揉んでいただき、8月末には素案をまた皆さんにお示しし、意見をいただいて最終的に作りこんでいきたいと考えている。</p> <p>→スケジュールがタイトなところもあり、今日の話も少し短かったかもしれないが、こういうことで進んでいるという種を今、蒔かせていただいているところ。</p> <p>次には町の職員も具体的なところを書き込んで、次回は皆さんに検討いただくたたき台を作りたい。言い足りなかったところもあるかもしれないが、どんどんご意見をいただきたい。</p>
	<p>次回日程について →7月22日（水）19：00から防災会議室で開催する。</p> <p>21：00 終了</p>